



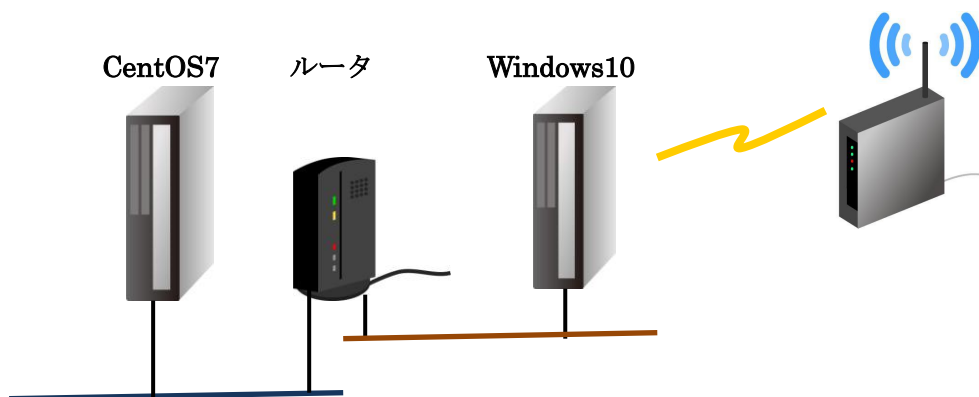
第12話 (仮想環境下のネットワーク)



以下の図は、VMware が作る仮想マシンのネットワーク環境です。仮想サーバ側にも Windows10 側にも仮想 NIC が作られ、内部ネットワークとして相互に通信が可能です。
CentOS7 側にサンバサーバを作れば、Windows10 から CentOS7 側のディレクトリを操作することができます。
同時に仮想ルータもできますから、CentOS7 側の FireFox (ブラウザ) からルーティングされ、パソコンに接続されている物理 NIC を通ってインターネットにアクセスすることができます。この仮想ルータはブリッジに設定することも可能です。



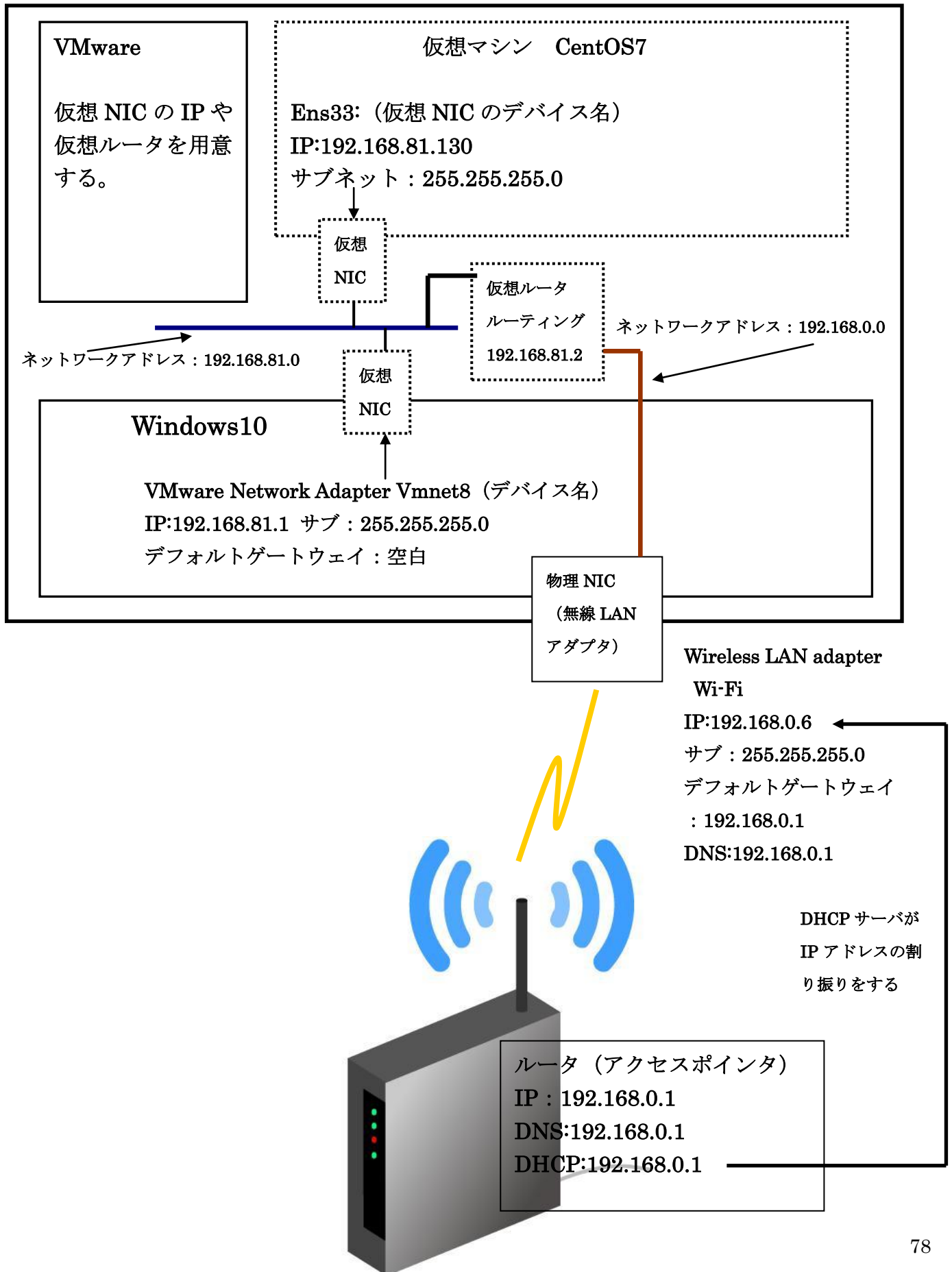
すごいな！完全に PC が 2 台、ルータが 2 台あり、それらが繋がっているように扱うことができるんだ。費用をかけないで好きなだけネットワークの勉強ができるよね。



キツネ、物理マシンに置き換えると、こんなイメージでいいのかな！

仮想環境下のネットワーク

パソコン内の VMware と仮想サーバ (CentOS7) と Windows10 の関係図





タヌキ、おめえ、すげえな！
物理マシンで表現すれば、タヌキのイメージどおりだ！
さて、**第13話**はどうするかな。



キツネ、コンピュータ言語を扱ってほしいな！



コンピュータ言語の解説本は沢山出ているし、基本から話すと数百ページになるから、C言語とJava言語のポイントに絞って話しをするか！